

東京圏から宮城県**岩沼市**に移住される方へ

移住支援金のお知らせ

東京23区に在住、または東京圏在住で23区内に通勤（大学等への通学期間含む）する方※が岩沼市に移住し、対象求人へ就業する等の一定の要件を満たす場合に、岩沼市が予算の範囲内において支給するものです。

支給額 世帯移住：100万円 単身移住：60万円

（世帯移住により、18歳未満の世帯員の方が一緒に移住される場合は、18歳未満の方お一人につき100万円加算されます。）

※住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上かつ直近の1年以上、東京23区内に在住、または東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県（一部地域を除く））に在住し、東京23区内へ通勤していた方。

詳しくは、[移住専用サイト「みやぎ移住・交流ガイド」](#)（右QRコード参照）でご確認ください。



主な要件

- ①移住元：東京23区在住者、または東京圏から東京23区への通勤者
- ②移住先：（1）～（5）のいずれかの要件に当てはまる方
 - （1）「みやぎ移住ガイド」に掲載されている移住支援金対象求人へ就業した方
 - （2）「みやぎUIターン起業支援補助金」の交付決定を受けた方
 - （3）ご自身の意思で岩沼市に移住し、移住先を生活の拠点として、移住元での業務を引き続きテレワークで行う方
 - （4）専門人材事業を活用して就業された方
 - （5）岩沼市の設定した関係人口※に該当する方

※関係人口（岩沼市）【R7.4.1以降に転入された方の要件】

転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更ではなく、転入時に50歳未満であって、【**支給対象要件**】のいずれかに該当し、かつ【**地域の担い手確保の要件**】のいずれかに該当すること。

【支給対象要件】

- （A）過去2年以上、「ふるさと納税」等で寄附した者
- （B）過去に岩沼市に居住したことがある者
- （C）岩沼市に3親等以内の親族がいる者
- （D）市が参加する移住・定住相談会等に参加し、本市のブースで相談したことがある者

【地域の担い手確保の要件】

- （E）土地を取得し（借地を含む。）、就農する者（販売農家に限る。）
- （F）家業等を承継する者
- （G）自活できる程度の収入のある農林水産業を営む者、又はその見込みがある者
- （H）起業し、市内に事業所を設置する者

※令和7年3月31日以前に転入された方は、問合せ先までご相談ください。

- ③移住後：支援金申請後、5年以上継続して居住する意思がある方

問合せ先

岩沼市政策部まちづくり政策課 企画創生係

電話:0223-23-0199 FAX:0223-24-0897 E-mail: sousei@city.iwanuma.miyagi.jp

岩沼市はこ～んなところ！



仙台空港



岩沼市は、仙台市の南18kmに位置し、仙台平野が広がる雪が少ない温暖な都市です。JR東北本線・常磐線、国道4号・6号の合流点であり、東北の玄関口である仙台空港が所在するなど、交通の便に優れた住みやすい街です。また、坂が少なく自転車での移動もラクラク！

魅力
その1

子育て支援や教育支援が充実！！

安心して子供を産み育てることができる環境を整えるため、放課後児童クラブや子育て支援センターを全ての小学校区ごとに整備しています。さらに、子育てボランティアの育成、産後ケア事業の創設、子育てアプリの導入、第2子以降の保育料無償化や3歳以上児への米飯無償提供、子ども医療費助成の年齢拡大を行うなど、ハードとソフトの両面から子育て環境の向上、支援の充実に取り組んでいます。教育支援については、市内小中学校の児童生徒全員にタブレットPCを貸与し、ICT教育を推進しています。

魅力
その2

医療機関も充実！ だから安心して暮らせる！

かかりつけ医から地域の中核病院まで医療機関が充実しております。市内に約30カ所あるほか、県南地域のの中核病院、地域の二次救急医療機関「総合南東北病院」、産婦人科から小児科が揃う、日本最初の不妊治療専門病院「スズキ記念病院」が立地しています。また、本市の病院数や産婦人科系診療所数は、人口規模で全国及び宮城県の平均数と比較しても高くなっており、出産から生涯安心して暮らすことができるまちです。



『岩沼市』は地方と都会の良さを感じて暮らすことのできる場所。そして、地域の方との交流もあり、馴染みやすく、安心して生活できるまちです。

移住に関する岩沼市の魅力・情報を公開中

▶岩沼市移住・定住ポータルサイト

